

行政改革推進審議会 会議概要

第3回会議	
開催日時	平成26年2月10日（月）18時30分 ～ 20時30分
開催場所	山陽小野田市役所 3階 小会議室
出席委員	7名（欠席3名）
出席職員	市長、企画課長、企画課主幹、行革推進係長、企画課主任主事
協議概要	<p>1 開会</p> <p>2 資料の確認</p> <p>3 議事</p> <p>第2回会議の会議録について ⇒特に意見なし</p> <p>第2回会議の未了事項について 第2回会議で次回までに回答するとした案件について、事務局より説明。 （主な意見） ○広報紙・ホームページの充実 ・広報活動の手段の一つとして、FMサンサンきららがある。項目名に「等」を入れて、25年度以降の取組内容に追加してはどうか。 ⇒了。その他、SNSの活用等についても検討したい。</p> <p>アクションプランについて ○情報公開・個人情報保護制度の充実及び適正な取扱い （主な意見） ・現状では市民に情報が見えにくい。26年度以降の取組については、「継続」ではなく、「検討」とし、公文書一覧の整理・公表について検討してもらいたい。 ⇒検討したい。 ・全体的な事項として、24年度までの取組内容の評価があって25年度以降の取組につながると考えるがどうか。 ⇒言われる通り。24年度までで目標を達成した等、表現を分かりやすく整理する。</p> <p>○公共施設における市議会の完全中継 ○自宅等における市議会視聴の実現</p>

(主な意見)

・ 地方自治体は首長と議員の2元代表制である。本審議会は執行機関（市長）の附属機関であることを考えると、議会の取組に対して審議会が意見することが可能か。

⇒市民の意見として議会に届けることは可能。

・ 今後の改善としてはどのようなことが考えられるか。

⇒委員会の中継等。

・ 平成19年の策定時は、一般質問だけでなく、議案上程や採決の状況等も含めた本会議すべての中継の実現を目指していたのであって、委員会の中継までは想定していなかった。また、アクションプランに議会関連の項目を含めることができたのは、議会の同意を得ながら進めたためである。策定時に意図していた「本会議」の完全中継は実現したのであるから、本項目は完了として取り扱って良い。

○審議会等会議の公開

(主な意見)

・ 現在は審議会会議の傍聴が可能か。

⇒傍聴は可能であるが、市民の傍聴機会の拡大のため、会議日程の事前公表について今後検討したい。平成26年度～平成28年度の取組を「継続」から「検討」に改めたい。

○対話の日・市政説明会の開催

⇒特に意見なし。

○出前講座の開催及び講座内容の充実

⇒特に意見なし。

○財政計画・バランスシート・行政コスト計算書等の作成公表

バランスシートの説明を求める意見があり、事務局より、資料（資料編）P90を基に説明。

⇒特に意見なし。

○予算・決算状況のわかりやすい公表

⇒特に意見なし。

○予算編成状況・事業進捗状況等の公表

予算の編成過程において、どの分野に予算配分の重きを置くかなど市長の思いを公表することが本来の目的であり、個別の事業についての採択を公表することが目的ではないとの意見あり。

(主な意見)

・ 民間の例として、3ヶ月程度を目途に予算についての会議を開く

が、中身については管理職程度しか情報を得ていないのが現状。

・過程を公表することで、予算編成業務に支障はないか。公表が市民にとって有益となるか疑問を感じる。

⇒事務局が財政担当課と協議し、今後の対応を検討する。

○総合的な定員適正化計画の作成公表及び適正な定員管理の実施

(主な意見)

・「新市建設計画」と「新市まちづくり計画」は別のものか。同一のものであるなら、表記を統一する必要はないか。

⇒一般的に、合併市町村が策定すべき「新市建設計画」を、本市では「新市まちづくり計画」という名称で定めている。分かりやすく、「新市建設計画（本市での名称は新市まちづくり計画）」との注釈をつけたい。

○職員給与状況等人事運営についての公表

⇒特に意見なし。

4 その他

次回開催 平成26年2月25日(火) 18時30分～(小会議室)